

# 鉄道の日記念鉄道切手展 Railpex2020

2020・10・14（水） — 10・17（土）



渋谷駅前にあった青ガエル（撮影：横山）



京都市電発祥の碑（撮影：三浦）

主催：日本郵趣協会 鉄道郵趣研究会

場所：切手の博物館 3F スペース1・2

## はじめに

JPS 鉄道郵趣研究会は 1985 年 9 月に「Railway stamps」の創刊号を発行し、鉄道切手部会としての活動を開始しました。

また、「鉄道の日」をはさんで、鉄道切手展 RAILPEX を隔年開催しています。

初代の渋谷駅は現在の地点になく、少し離れており、現在地に開業したのが 100 年前でした。そこで、「渋谷、渋谷駅、渋谷駅を発着する鉄道」に関する切手を展示します。

また、1895(明治 28)年、125 年前に日本初の電気鉄道として京都電気鉄道が開業しています。路面電車などの切手を展示します。

さらに、これらのジャンル・テーマにこだわらず、その他さまざまな鉄道に関するコレクションも展示し、広く鉄道マニア、切手マニアに切手収集の醍醐味を紹介します。

多くの方に、これらを見ていただき、鉄道郵趣の楽しみを理解していただければ幸いです。

このRailpex参観を契機に、当鉄道郵趣研究会に入会して頂ければ、光栄です。

## トラムの世界(抜粋)

### 三浦 正悦

トラムは路面電車と言えますが、限定されません。

「TRAM」は広義では坑内トロッコ、ロープウェー、一般的な鉄道を包含します。市街地・道路を走行した Urban・Inter-Urban 鉄道/軌道を「トラム」と狭義に定義します。

「TRAM」と「トラム」に関して、「TRAM」の定義、「トラム」の歴史的な変遷や各国の概況、運行継続中の状況等を紹介します。

JAPEX2015 出品 8 フレームの前半部分です。

## 都電荒川線の小型印と風景印

### 吉田 幸江

都電荒川線が描かれた小型印と風景印を集めて作品にしました。令和になって都電荒川線のフレー

ム切手発売記念の小型印が出ましたので、今回はその切手と小型印が中心の作品です。

風景印は使用開始の古いものと新しいものとは描かれている車両も違います。これらには興味深いものがあります。

作品をご覧になって都電荒川線に乗ってみたいと思っただけいたら嬉しいです。

## 日本の路面電車

### 三浦 正悦

郵趣サービス社の企画で 2010 年に販売されたコレクション「街にやさしい 日本の路面電車」コレクションの一部を抜粋しての紹介です。現在も活躍している各地の路面電車を、フレーム切手を利用した紹介です。

この企画には私も含めて鉄道郵趣研究会の会員有志が解説文の執筆を担当しました。

## 渋谷駅関連のフレーム切手と渋谷駅の解説

### 和食 克維

このテーマ「渋谷駅」は Railpex2020 のメインテーマの一つです。

関連するフレーム切手を探してみました。渋谷駅に関連があるフレーム切手は予想したほど多くはなかったのですが、どうにか1フレームに纏めることができました。

## 渋谷を経由する埼京線

### 矢内 毅

埼京線は 1985 年 9 月 30 日に開業し、同時に川越線大宮駅-高麗川駅間も電化開業しました。運転区間は池袋駅-川越駅間でした。

池袋から先の延長を求める声が強く、1996 年 3 月 16 日に恵比寿駅までの延長で、渋谷駅ホームを新設、これは山手貨物線を旅客転用したもので、初代の渋谷駅の場所でした。このホームは 2020 年移設されました。

こうした点から、渋谷駅発着の路線として、埼京線を 1 フレームにまとめてみました。

## 渋谷と渋谷駅関連(合作)

### 鉄道郵趣研究会

渋谷、渋谷駅、渋谷を発着した鉄道に関するマテリアルは以外に少なく、1人で1フレームをつくるのは至難です。しかし、1人では1フレームの出品が不可能でも、それぞれが1リーフでも、2リーフ、3リーフ・・・と出品すると、こうした合作で1フレームができあがります。ダブっているものもあるかもしれませんが。

### 郵便を届ける鉄道

#### (スタンプショー 2019 金銀賞) 浜名 賢一

鉄道は開業とともに人力や郵便馬車に代わって郵便輸送の主役になりました。現在はその役目を航空機や自動車に譲りましたが、郵便の発達と鉄道は深い関係にあります。ここでは鉄道郵便車とその列車を描く切手をまとめてみました。

### 鉄道関連風景印

#### 横山 駿一

2018年4月に「テーマ別風景印大百科Vol.1 鉄道編」が発行されました。その後において新規の使用開始、図案の変更や廃止がありました。

ここでは、新規に使用開始されたもの、図案改正により変更されたもの、局の移転改称により改正されたものについて展示します。

### 2019年発行の鉄道関連フレーム切手

#### 和食 克維

郵趣サービス社 リストには2019年発行のフレーム切手として、合計365シートが採録されています。その中に含まれる鉄道関連図案を描くものは31シートほどでした。この中からシート全体に鉄道図案があるものをAタイプとし、選択して1フレーム分をまとめました。

### 令和の鉄道:東日本

#### 樽井 秀美

2020年3月14日のダイヤ改正の重点項目は高輪ゲートウェイ駅の開業と常磐線の全線運転再開と思

います。JR東日本の各駅にはPRのパンフレットが次々と並び、我々も大いに参考に気づかりました。

この作品は、これらの記事や写真のカットに、関連する切手などを加え、独自の新しいアイデアでまとめてみました。

さらに、昨年試乗したリニア新幹線、再建された箱根登山鉄道も加えてあります。

### 鉄道 150 年、近づく日本の記念への期待

#### (スタンプショー 2020 年銅賞) 井上 龍太郎

日本の鉄道は、ちかぢかその開業から150年を迎えます。すでに開業から150年を経た世界の国々は既に30を超えています。

それら各国の鉄道150年記念のマテリアル(切手、特印、FDC)を眺めます。

今や世界に冠たる日本の鉄道技術、狭い列島に巡らされている高速鉄道網、事例も参考にして、日本の鉄道150年の時には、どんな郵趣が提供されるか楽しみです。

### ヨーロッパの鉄道150年

#### 若園 泰三

日本の鉄道は1872(明治5)年に開業して2022(令和4)年に150年を迎えます。

ヨーロッパではイギリスが1825(文政8)年に開業して本年195年になり、2025(令和7)年には鉄道開業200年の記念になります。

産業革命で大発展をしたヨーロッパの鉄道150年を迎えた各国の鉄道150年切手をまとめました。

### 世界の高速鉄道&豪華列車

#### 秋山 茂樹

最高時速200km超の夢が日本の新幹線の開業によって実現しました。これに刺激を受けた鉄道先進国では「日本に追いつき追い越せ」とばかりに高速列車の開発を進めました。現在では日独仏のほか、各国で時速250kmを超える高速鉄道を運行しています。

世界各国の高速列車の走行状況のほか、あこがれの豪華列車と鉄道分野の世界遺産を紹介します。

## ユングフラウの鉄道と郵便

若園 泰三

ヨーロッパの名峰スイス・アルプスのユングフラウにユングフラウ鉄道が1912(大12)年8月に開業しました。この登山鉄道にヨーロッパ最高地の標高が3454mにユングフラウヨツホ駅が建設され、郵便局も開設されました。

このユングフラウの郵便と鉄道をまとめました。

## パナマ運河

朝月 清次

1915年に開通したパナマ運河は太平洋側のパナマ港から、ガトゥン湖を通り、大西洋側のコロン港までの長さが81km、幅は92mから305m、深さは13mです。ここを通過するのに7-8時間かかります。

船舶の運行は運河の兩岸を走って曳行するウインチ付きの電気機関車によります。この電気機関車は1964-65年に、すべて日本製に取り替えられました。

このパナマ運河は2016年に拡張工事が完成し、世界の交通や貿易のために大きな働きをしています。

## 鉄道切手カタログ(2000年以降)編集

石田 倫久

鉄道切手部会が2004年に刊行した「最新世界鉄道切手総図鑑 追補版」以降の鉄道切手カタログは欲しいと願っています。

そこで、2000年以降発行の鉄道切手の編集に挑戦しています。目が悪く、作業は順調ではありませんが、編集の頁を示し、皆さんの協力を得る場としたものです。

## 世界各国の鉄道切手 1番切手(その2)

和食 克維

最新世界鉄道切手総図鑑(荒井誠一著)に掲載されている各国の鉄道一番切手をまとめてみました。

展示方針としては、一番切手が数枚一緒に発行されているものはセットで展示し、セットの中の一部が鉄道切手の場合は、鉄道図案のみとしました。

Railpex2018で世界各国の鉄道切手1番切手(その1)を展示しました。今回は一番切手(その2)で完成できませんでしたので、次回のRailpex2022で完成させるつもりです。

## 年賀状に見る世界の鉄道:その2

樽井 秀美

鉄道郵趣研究会の会員諸兄や収友から送られてきた鉄道モチーフの第2作です。

それぞれ個性豊かな内外の鉄道の新切手、関連する日付印、記念印が見られ、これらを分類し、それ以外のマテリアルも加えました。差し出された方々、無断使用をお許しの程を。

### 日本郵趣協会鉄道郵趣研究会への入会案内



鉄道切手に興味をお持ちの方でしたら、今すぐご入会ください。当会は鉄道切手の他に機関車、電車、旅行など鉄道大好き人間約80名の集りです。

常に対等にして、和気あいあいと活動しています。「鉄道」というくくりでは、共通していますが、みなそれぞれ、気ままな収集をしています。

鉄道郵趣研究会では切手の販売は行っていません。会報を通じての情報交換が主になります。

会費(運営負担金)は年3,000円です。

\*主な活動状況

1. 会報「Railway Stamps」年6回発行
2. ミニペックス(切手展:Railpex)などの開催、JAPEX等への出品の支援
3. 定例月例会の開催(毎月第2火曜日午後5時から切手の博物館3Fにて)
4. 特別例会の開催
5. JAPEXにおけるラウンジの開催 など

問合先:鉄道郵趣研究会

連絡担当:三浦 正悦

〒186-0012 東京都国立市泉3-26-21